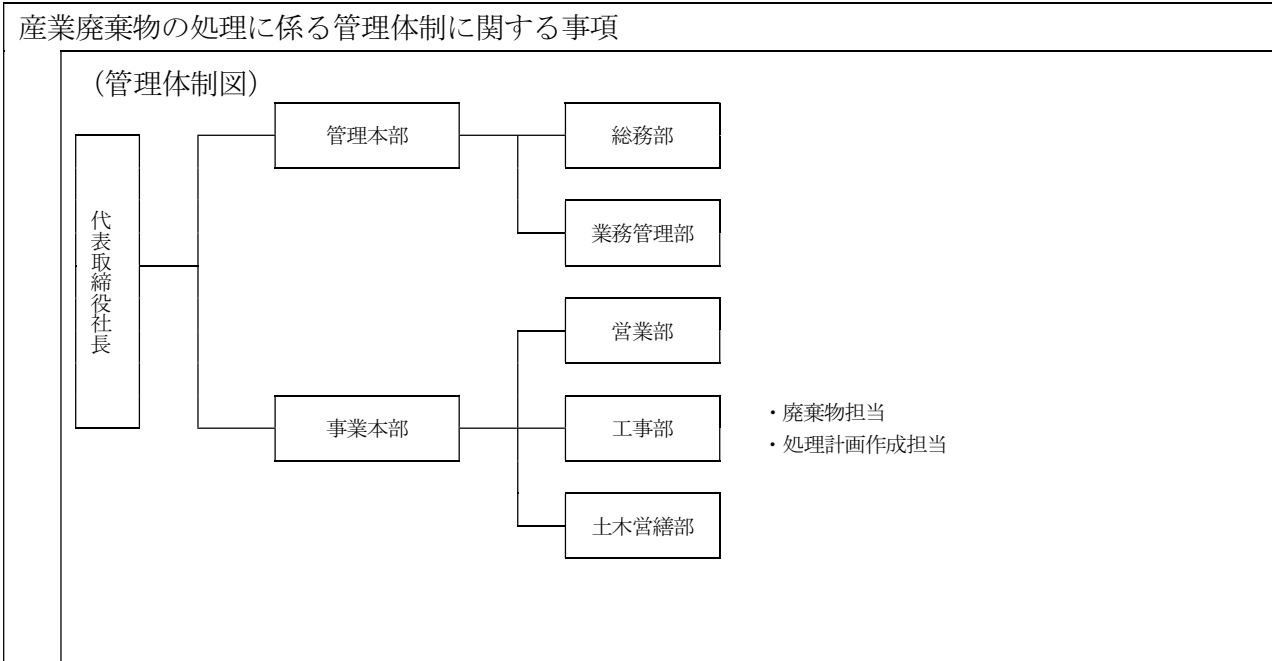


(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6月 30日	
大分県知事 広瀬 勝貞 殿	提出者 住所 福岡市東区千早2丁目2番43号 氏名 株式会社 三和興業 代表取締役 大山 哲寿 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-671-1855
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	株式会社 三和興業
事業場の所在地	福岡市東区千早2丁目2番43号
計画期間	平成31年4月1日～平成32年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：職別工事業 小分類：はつり・解体工事業 (0796)
②事業の規模	前年度の解体工事売上額：27億1700万円
③従業員数	40名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 10px;">株式会社 三和興業</div> </div> <pre> graph LR     Root[株式会社 三和興業] --&gt; W1[がれき類 木くず]     Root --&gt; W2[その他ガレキ ガラス・陶磁器くず 混合廃棄物]     Root --&gt; W3[廃プラスチック類]     Root --&gt; W4[廃石膏ボード]     Root --&gt; W5[繊維くず 紙くず]     Root --&gt; W6[石綿含有廃棄物]     Root --&gt; W7[廃蛍光管 (水銀使用製品)]      W1 --&gt; P1[委託中間処理 破碎]     W2 --&gt; P2[委託中間処理 破碎・選別]     W3 --&gt; P3[委託中間処理 破碎・選別]     W4 --&gt; P4[委託中間処理 破碎]     W5 --&gt; P5[委託中間処理 破碎・選別]     W6 --&gt; P6[委託中間処理 破碎・選別]     W7 --&gt; P7[委託中間処理 破碎・選別]      P1 --&gt; O1[有価販売 (再生利用)]     P2 --&gt; O2[有価販売 (再生利用)]     P2 --&gt; D1[委託処分 安定型埋立]     P3 --&gt; D2[委託処分 安定型埋立]     P4 --&gt; O3[有価販売 (再生利用)]     P5 --&gt; O4[有価販売 (再生利用)]     P5 --&gt; D3[委託処分 安定型埋立]     P6 --&gt; D4[委託処分 安定型埋立]     P7 --&gt; O5[有価販売 (再生利用)]     P7 --&gt; D5[委託処分 安定型埋立]     P7 --&gt; D6[委託処分 管理型埋立]     </pre>

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（ 30 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙1のとおり		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1のとおり		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙1のとおり

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙1のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙1のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙3のとおり		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙3のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 別紙1

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	排出量	500t	59t	32t	29t	376t	16t	2t	3t	5.2t	0t	0.1t
(これまでに実施した取組) 解体現場における作業工程を見直し、廃棄物の排出量削減をはかった。												
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	排出量	400t	47t	26t	23t	301t	13t	2t	2t	4t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 引き続き作業工程の見直しをはかり、解体現場の構造に合わせて作業工程の効率的な運用をはかっていく。												

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず:現場で再利用できるものを分別し利用している。											
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック:プラスチックの種類毎に分け、再生利用できるものを分別する。											

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 再生利用し自社使用及び有価販売している。												
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、再生利用し自社使用及び有価販売を行う。												

別紙2

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理に付き減量した産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 中間処理においては、破碎・選別により再生品として自社使用及び有価販売している。												
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理に付き減量する産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、中間処理においては、破碎・選別により再生品として自社使用及び有価販売をおこなう。												

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度(平成30年度)実績】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(これまでに実施した取組) 前年度はガレキ・ガラス陶磁器くずの再生処理を行った。廃プラスチックについても、分別の上再生できる物は再生処理を行う											
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラスチックについては、分別の上再生できる物は再生処理を行う											



別紙3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成30年度)実績】												
産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯	
①現状	全処理委託量	500	59	32	29	376	16	2	3	5.2	0	0.1
	優良認定処理業者への処理委託量	460t	0t	0t	0t	0t	16	0t	0t	0t	0t	0t
	再生処理業者への処理委託量	40t	59	32	29	376	0t	2	3	5.2	0	0.1
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 解体現場の所在地に応じ自社および委託再生施設で処理している。												
【目標】												
産業廃棄物の種類	がれき類	その他ガレキ類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック	木くず	廃石膏ボード	繊維くず	紙くず	石綿含有廃棄物	混合廃棄物	廃蛍光灯	
②計画	全処理委託量	400t	47t	26t	23t	301t	13t	2t	2t	4t	0t	0t
	優良認定処理業者への処理委託量	360t	0t	0t	0t	0t	13t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生処理業者への処理委託量	40t	47t	26t	23t	301t	0t	2t	2t	4t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、解体現場の所在地に応じ自社および委託再生施設で処理する。												